



開催日：令和8年3月6日（金）15:45～17:00

場 所：上鶴間高等学校 会議室

出席者：学校運営協議会委員6名（欠席3名）校長、副校長、各GL

次 第：

1 校長挨拶

2 令和7年度学校評価最終報告（各GL）

（学校推進グループ）

- ・学校広報活動の一環として9月にインスタグラムを開設した。現在、投稿数25件、フォロワー数は500名弱である。来年度も最新情報発信に努めたい。
- ・昨年10月からSSWの協力を得て、ソーシャル・スキル・トレーニングを開始した。

（学習支援・ICTグループ）

- ・「生徒による授業評価」については、科目によってばらつきはあるが、概ね生徒の満足度は高い。教科別報告を見ると改善不足との反省もある。生徒間での意見・情報交換を通して深い学びにつなげていきたい。今後、生成AIをどのように活用するかが課題である。

（生活指導グループ）

- ・年間苦情件数は1月末で52件、自転車の乗り方に関するものが多い。事故件数も50件弱で、交通ルールやマナーに関する指導が必要だと考えている。

（進路指導グループ）

- ・4年生大学への進学率は前年比増で、45.6%となった。指定校推薦での進学者が最も多いが、一般受験や総合型選抜も増えている。
- ・総合的な探究の時間の発表はクラス単位から、学年・クラスを超えたポスターセッション形式へと発展させた。

（生徒サポートグループ）

- ・花火大会やボランティア活動を推進し、地域との共存・連携を深めている。参加生徒が固定化されているのが課題である。
- ・生徒会公約であったアイスの自動販売機が2月下旬に設置された。生徒たちがルール（ごみ拾い、食べ歩き禁止等）づくりを行うことで、主体性の向上につながっている。

（学校管理グループ）

- ・学校環境整備の一環として生徒昇降口に椅子や机を置き、ラウンジとして活用している。創立50周年に合わせ、同窓会の支援も得ながら、さらに充実させたい。
- ・PTA役員の要望を受け、式典行事で入場や座席の配慮をしたところ、好評であった。

3 質疑及び意見聴取

委員	Q	事故件数の把握は、年に1回まとめて確認する形なのか？
	A	生徒からの報告を受け、担任が報告書を提出する形になっているが、一部滞っていた。今回は報告書の提出を職員に呼びかけ、概算として集約したものである。
A		

委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情件数報告があったが、地域住民から見る限り、以前よりも落ち着いてきた印象がある。今後も自転車の乗り方やルール・マナーについて指導をお願いしたい。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価について報告があったが、多くの保護者は教職員がいかによりよい授業を目指して努力しているかを知らないし、感じていない。このあたりについては、PTAとしてもアピールしていきたい。 ・地域連携については、PTAとしても、生徒と連携しながら進めていきたい。 <p>Q 大学の指定図書はなかなか入手できない。ネットで検索すればよいという話でもない。学校として手立てはないものか。</p> <p>A 面接指導に必要な場合もある。図書司書とも相談しながら進めたい。</p> <p>Q 式典行事の入場や座席の配慮はPTAにも好評であった。入学式はどうなるのか。</p> <p>A 入学式の生徒入場はメイン通路を歩かせる予定である。</p>
委員 D	<p>Q ラウンジ整備の意図は何か。</p> <p>A 一定制の導入で昇降口の下駄箱を撤去し、机と椅子を置いて生徒が食事や談笑できるスペースを作った。</p>
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にいる留学生を招いての説明会はたいへんよい試みである。来年もぜひ継続して欲しい。 ・50周年に向けて、同窓会としても様々な支援を行っていきたい。
委員 F	<p>Q 特別募集生徒の進路決定状況はどうなっているか。</p> <p>A 大学、専門学校等、進学する生徒が多い。</p> <p>Q 転退学者はどのくらいいるのか。それについての学校長どのように考えるか。</p> <p>A 今年の3年生は、1～3年生までの間に、数十名が進路変更した。不登校になる生徒も一定数おり、ケースバイケースでオンラインを活用した学びを提供した。</p>

第4回地域連携部会 16:45～17:00

☆学校より

・学校マネジメント支援システム集計結果は、校長に対する通知表である。今年は特色づくりに注力した。結果、県全体平均よりも数値は高い。反面、ハラスメントやメンタルヘルスが課題である。本日、各委員からいただいた忌憚のないご意見を、今後の学校教育改善に役立てたい。ありがとうございました。